

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和5年度			
事業番号	20	事業名	地球温暖化対策設備導入促進事業		担当課		環境課			
			(大事業名) 環境基本計画推進事業		予算区分（款-項-目-中事業）		4-1-3-2 地球温暖化対策設備導入促進事業			
					決算書ページ		154 ~ 一般			
I 基本情報	総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物		事業開始の背景	地球温暖化対策や自然環境の保護は、地球全体の問題として、対応が必要である。			
		政策	3	地球にやさしい持続可能な社会の構築						
		施策	(1)	くらしの低炭素化の推進			市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可	
	その他	開始年度	不明							
		終了予定年度	☐ 年度	☒ 未定						
		根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、気候変動適応法等							
	関連計画	長久手市環境基本条例、第4次長久手環境基本計画								
	事業の概要・目的	アウトプット（詳細はⅡへ）					アウトカム（詳細はⅢへ）			
		①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)		
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 60,000人+事業所 【事業内容】 住宅用地球温暖化対策設備を設置しようとする者に補助金を交付する。		【アクションプラン指標】 スマートハウス化に対する支援 件数【累計】		人と地域がつながり、自然と環境にこだわるまちを目指して行動する人々が増える。 (成果指標名) 【アクションプラン指標】 環境配慮行動促進事業への参加者数【累計】		大事業共通 くらしの安心や健康、幸せや豊かさを実感できる。 環境を通じて、地域、自然、世界とつながる物語が生まれる。		

Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ		区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度		
		1	【アクションプラン事業】 スマートハウス化に対する支援件数【累計】	件	基準値	49	見込	49	59	69	79	89		
					目標値	100	実績	45						
		2			基準値		見込							
					目標値		実績							
		3			基準値		見込							
					目標値		実績							
		4			基準値		見込							
					目標値		実績							
		エピソード	事業開始からの経緯											
			住宅用地球温暖化対策設備を設置しようとする者に補助金を交付している。											
			R5(2023)年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金を交付し、実績として合計2,060,000円の補助を行った。													

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		【アクションプラン指標】 環境配慮行動促進事業への参加者数【累計】		人	R4 年度		年度		【現状】 R5 年度		年度		R9 年度	
					2,385				2,744				3,466	
		成果達成状況				指標目標値の根拠								
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている				第4次環境基本計画において、2030年までの取組のキーワードを、「人づくり・地域づくり」としている。 市民が自発的に環境配慮行動を行うためのきっかけ作りとして令和4年度から「ながくてエコチャレンジ事業」を開始したため、その事業へのエントリー数を成果指標と設定する。							
	評価の理由、分析													
	ecoチャレンジ事業に259人がエントリーし、二酸化炭素削減に向けた行動を実践していただいた。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）		今後の方向性の理由										
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		令和6年度と令和7年度に地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定を行い、その中で、こういった事業を実施すべきかを検討していく。									
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 （成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												

